

令和3年度 事業計画

社会福祉法人 ウエルネス

この度の理事会において理事長が交代し、新体制となりましたが、3月に承認された事業計画を引き継ぎ実行していくことと致します。

今年度は、いまだ新型コロナウイルス感染パンデミックの鎮静化の途上であり、**64歳以下**のワクチン接種も日程も未定なことから、年間を通じて感染予防を念頭に置いた事業計画が基本となります。

当法人の職員は使命感・責任感を自覚し、日常活動はもとより、家庭生活においても自律ある生活を送っていただくようお願いをします。

施設内においても、介護施設のクラスターの発生予防、対応等のガイドラインに沿った対応を即座に実施できる体制を整えます。

今年度、介護報酬が改定となりました。これからの3年間は、改定要綱で示された1、感染症や災害への対応力強化。2、地域包括ケアシステムの推進。3、自立支援・重度化防止の取り組みの推進。4、介護人材の確保・介護現場の革新。5、制度の安定性・持続可能性の確保。を運営の基本に据えて運営します。

1、地域への貢献

今年度の地域活動は、コロナ感染の状況を見ながら、また感染予防を実施しながら、可能な範囲で行いたいと思います。ただ年度前半は、ワクチン接種も**始まったばかりなので**、中止が多くなるのはやむを得ないと思います。

「うんどう教室」 月2回開催予定。

「オレンジカフェ」月1回開催。本所地区、葛巻地区の各月交互開催を基本とする。

「葛巻地区認知症フェア」 11月ころ開催予定。

「通所運営推進会議」 半年に1回開催予定。

「特別養護老人ホーム運営推進会議」 2カ月に1回開催予定。

2、健全経営と職員の処遇改善

今年度も、「介護職員処遇改善事業」「介護職員等特定処遇改善事業」を実施し、職員の処遇改善に努めます。

コロナ感染不明者の早期発見の補助具として「**抗原検査キット**」を常備し、初動動作が迅速に行動できるよう努めます。

健康診断は、法人全職員（短時間パートも含め）全額法人負担で実施します。

来年度4月から、企業型保育園と提携し、該当職員が安心して勤務できる環境を整えます。

① 特養：「喀痰吸引実習」が、オンライン事業となり、前年度より継続の2名が受講中です。これにより、喀痰吸引実施可能社が施設で10名となり、施設の看取り体制を強化します。

●社内研修は、インターネットによる研修システムに加入し、年間研修計画のもとに月1回介護職員会議にて、施設内研修を実施します。

これらの研修や介護会議を活用し、介護職員全員が各項目の介護の統一性を実施し、そのうえで個別介護が提供できる体制を強化します。

●外国人介護人材の活用

今日現在令和3年8月にベトナム人技能実習生が1名入社予定です。

日本の高度な介護技術を学んでいただくと共に、私たちも多くのことを学びたいと思います。

●短期・長期借入金の組み立てと修繕積立金

資金繰り健全運用のため、組み立て交渉に入ります。今後の不透明な社会情勢を勘案しながら、法人全体の利益を確保し、短期・長期の借入金の返済と共に、将来にわたる修繕積立金を確保していきます。

●入院者を出さないために各職種のやるべきことを自覚し、実施していくことにより、稼働率100%を目指します。

② 通所介護：常勤職員を1名採用しました。これにより、各自の業務内容を見直し、より「そいがあ亭の魅力」を追求します。

コロナ禍で停滞気味の利用者様の精神的、身体的な活性化増進を目指します。

●自宅での日常生活との連携を強化した介護計画のもとに、一体的なリハビリテーションと科学的介護に取り組みます。

③地域包括支援センター：コロナ禍における新しい生活様式の中で、地域高齢者の精神的、身体的機能低下を支援することに苦慮しているところです。感染状況を見ながら、個人でもできる予防策を啓蒙し、機会を見て小規模なイベントの開催等検討していきたいと思います。またできるだけ訪問して、お顔を見て、適切な支援ができるよう心掛けていきます。

今期もコロナ沈静化には、相当の時間を要すると予測されます。

不慮の事態にも対応できる組織の体力を強化するため、当法人の福祉活動を確実に実行して地域に貢献するとともに、売上げの最大化、経費の最小化を目指し、資金運営を強化し、修繕費積立を実行し、職員の処遇改善の体制を実現していきます。